



REGIONAL MEETINGS LISBON | 7-8 NOVEMBER 2019



毎年恒例の国連グローバル・コンパクト地域会議（リージョナル・ミーティング）は、今年も11月7日と8日の二日間、リスボンにて開催されました。各地域における経験や課題についての情報交換を行う場を提供するとの目的から、各地域ごとのミーティングと話し合うテーマが設定されたセッションが開かれ、世界中のローカルネットワークから95人の参加者が熱い議論を交わしました。

今年のメインテーマは、来年迎えるUNGC20周年および国連創設75周年に向けた戦略計画と新しく打ち出されたグローバル・インパクト・イニシアチブ（**Global Impact Initiative, GII**）。他にも、Academy活用推進、広報機能の強化・見直しや国連機関との連携など、様々なテーマをもとに基調報告が行われました。

20周年に向けてさらなる発展を

開会初日、国連グローバル・コンパクトCEO兼事務局長リセ・キングによる講演で幕を開けました。冒頭で「SDGsのいくつかの目標やターゲットにおいて進捗があったものの、多くの分野で目標に向けての進展が遅い」との懸念から、行動を加速する必要と述べた事務局長は、気候変動への取組とあらゆる形態の差別を取り除くことの重要性を強調。「とりわけ女性に対する差別・偏見と暴力や若者の貧困と機会格差問題が依然として深刻で、社会と企業の持続的成長に大きな影響を与えている」と説明すると共に、企業にこれまで以上に野心的な目標を設定するよう呼びかけました。



「UNGCの会員企業の81%は、SDGs実現に向けて積極的に取り組んでおり、90%は10原則を企業戦略に取り入れている」と会員企業の貢献を称える事務局長。一方で、企業の取組は抜本的な変革に向けた行動がまだ

足りないと言鐘も鳴らしました。さらに、若者の声に耳を傾けるべきだと主張。「グレタ・トゥーンベリのような若者が、気候変動対策に対して積極的な姿勢でない自国の政府に対して声をあげている。私たちは決してその声を単なる雑音として片付けてはいけぬ」と述べ、社会変革の中核を担っている次世代活動家の声をUNGCのイニシアチブにも積極的に取り入れる方針を表明しました。

2020年の目標について、事務局長はこう述べました。「第一に、GIIの推進を通じて『Theory of Change（セオリー・オブ・チェンジ）』を実践し、変革を起こすこと。次に、UNGCのコミュニケーション能力を強化し、企業と共に持続可能な社会の発展に向けた取り組みを推進していくこと。最後に、20周年記念イベントを通じて、UNGCのさらなる飛躍を目指すこと。」

目標から行動へ

SDGs、そして2020年の目標を達成する上、GIIが大きな役割を果たします。GIIとは、「Think globally, act locally」を合言葉として、目標達成に向けた行動を促進させるためのイニシアチブ。WEPsやSDGsなど既存のイニシアチブを基礎として、4つの主要トピックを展開します：

1. SDG Ambition
2. Target Gender Equality
3. Target Climate 1.5°C
4. Young SDG Innovators

Target Gender Equality Workshop

Target Gender Equalityとは、ジェンダー平等を前進させ、差別撤廃と公正を促進するよう企業に呼びかけるイニシアチブ。企業における女性のエンパワーメントに統合的、総合的アプローチを実施するよう手助けします。

「世界ジェンダーギャップ指数」では149か国中110位の日本は、ジェンダー格差をいっただうすれば埋められるのでしょうか。**Target Gender Equality**を通じて、UNGCとローカル・ネットワークのできる

ことは何でしょうか。ミーティングでは、Target Gender Equalityの進展やこれからの目標と課題などが議論されました。その他、各地域のローカル・ネットワークが、ジェンダー平等の推進を中心とするダイバーシティ経営の現状と課題についても意見交換を行いました。



SDG Ambition & Target Climate 1.5°C

SDG Ambitionとは、企業経営戦略とステークホルダー・エンゲージメントにUNGCの10原則とSDGsを統合できるよう導くイニシアチブで、企業にこれまで以上に野心的な目標を設定するよう促します。一方で、**Target Climate 1.5°C**は、企業に対し「SBTイニシアチブ（Science Based Targets initiative, SBTi）」に基づく二酸化炭素排出量削減目標を立てることを求めます。企業の経営者の野心的な対策は1.5°Cまでの温暖化を抑制する上で重要であるため、緊急の行動を取るよう呼びかけています。

全体として、GIIは、ローカル・レベルでの企業ガバナンスにおける変革をを促進し、グローバル・レベルでのSDGsの取組を後押しする形で実行されます。



SDG
AMBITION



20周年という大きな節目を迎える国連グローバル・コンパクト。UNGCとGCNJは、この節目の年をさらなる前進と発展の契機と捉え、これからも企業と共に企業価値向上と持続可能な成長への挑戦を推し進めていきます。（記録：王）